

2 / 7 日 (金) の行事


 ウポポイ
UPOPOI
民族共生象徴空間

北海道白老町に2020 OPEN!

報道発表資料の配付日時 1月31日(金) 10時00分

発表項目 (行事名)	北海道博物館 第16回企画テーマ展「北海道神宮」 及び蔵出し展「模型でみる札幌建築物語」 報道向け展示説明会の開催		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道博物館では、2月8日(土)から第16回企画テーマ展「北海道神宮」及び蔵出し展「模型でみる札幌建築物語」を開催します。 開催前日の2月7日(金)に報道関係者様向けに展示説明会を開催し、見どころなどをご説明します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○日時 2月7日(金) ①10:30～ ②13:30～ ※2回とも同じ内容で、1回約60分です。</p> <p>○会場：北海道博物館2階特別展示室 ○案内：展示会企画チームメンバー ○申込：011-898-0456 (9:30～17:00) (鈴木琢也、鈴木明世(不在の場合は道民サービスグループ)までお問い合わせください) ○集合：当日時間までに直接2階会場へお越し下さい</p> </div> <p>展示会の概要 ※どちらも2階特別展示室内で開催します。</p> <p>○第16回企画テーマ展「北海道神宮」 創祀150年を迎えた札幌神社、後の北海道神宮が当館に寄託している考古・民族資料について、六代宮司白野夏雲の役割に焦点をあてて紹介します。また、北海道神宮が明治年間以来、集めてきた書画、器物や記録類のなかから、北海道の歴史にかかわりのあるものを中心に公開します。さらに、二代宮司となる菊池重賢が、明治5年(1872)に実施した神社取調を再考します。(詳細別紙チラシ)。</p> <p>○蔵出し展「模型でみる札幌建築物語」 北海道博物館には、100点以上の建築模型が収蔵されています。今回は、蔵出し展として、その中から、明治以降北海道の中心都市として発展してきた札幌のまちを彩っていた建物たちを紹介します。</p>		
参考	<p>※展示会基本情報 開期：2月8日(土)～4月5日(日) 9時半～16時半 入館は閉館30分前まで。 会場：北海道博物館2階 特別展示室 料金：無料</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>●本企画展を多くの皆様に知っていただけるよう、周知と取材のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。</p>		
他のクラブとの関係	<p>同時配付 (場所) 同時レク</p>		
担当(連絡先)	<p>北海道博物館 TEL ダイヤルイン 011-898-0456 ●説明会について：鈴木琢也、鈴木明世(内線：16、37) ●展示会の内容について：企画テーマ展「北海道神宮」 舟山(内線：39) 蔵出し展「模型でみる札幌建築物語」 鈴木明世(内線：37)</p>		

北海道博物館第16回企画テーマ展

北海道神宮



明治2年(1869)からの境内と祭りの風景

HOKKAIDO JINGU
Sinto Shrine

令和2年(2020)
2月8日(土)~4月5日(日)

休館日=月曜日(2月24日は開館)、2月25日(火)
会場=北海道博物館2階 特別展示室 料金=無料
【主催】北海道博物館
【協力】北海道神宮、センチュリーロイヤルホテル

連携行事 北海道立図書館利用講座「映像によりみえる北海道
講座内容=1969年の映像資料からみた「札幌まつり」
講師=舟山直治(北海道博物館 学芸員)
日時=2月22日(土)14:00~16:00 場所=北海道立図書館 研修室
問い合わせ=利用サービス部北方資料室
〒069-0834 江別市文京台東町41
TEL: 011-866-8523(直通) Email: hokppo@library.pref.hokkaido.jp

同時開催



蔵出し展
模型でみる
札幌建築物語

北海道庁旧本庁舎(赤レンガ庁舎)

北海道博物館
そのちゆれんが HOKKAIDO MUSEUM

札幌市厚別区厚別町小野幌53-2 TEL.011-898-0466(総合案内) HP.www.hm.pref.hokkaido.lg.jp

アクセス等はウェブサイトをご覧ください。



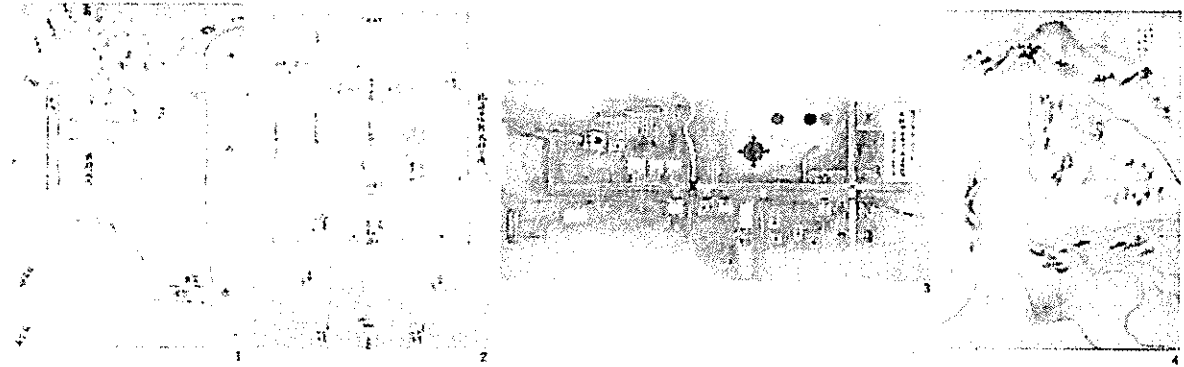
上:官報中社札幌神社境内之春光(1899、右取組:栗田扶桑堂)北海道神宮
中:札幌御幸陣及一ツ御台見北国(1871、高見治雄之複製)北海道神宮蔵

開催にあたって

北海道神宮(旧札幌神社)には、明治2年(1869)の神社創建時に関するものから、大正・昭和にかけての境内の様子や四季折々の行事を描いた書画をはじめ、神宮ゆかりの人びとの器物のほか、各時代を反映した奉納物などが所蔵されています。また、昭和59年(1984)には、北海道開拓記念館(現在の北海道博物館)に考古・アイヌ民族資料などを寄託しています。

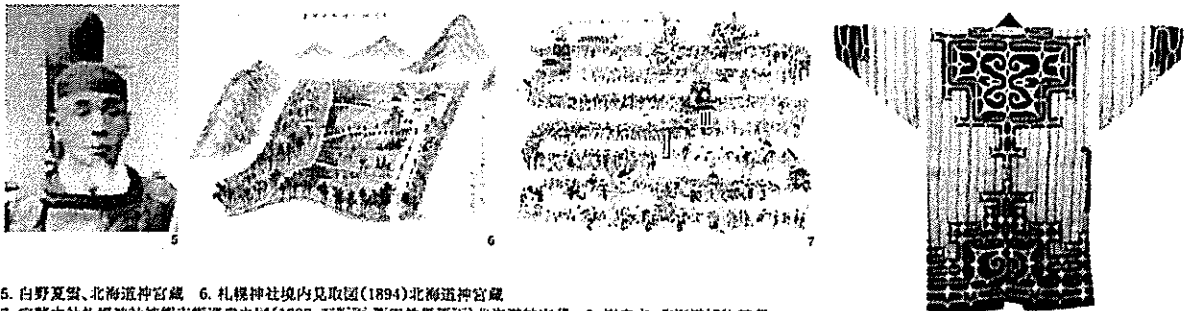
この展示会は、北海道神宮が創始150年を迎えたこの年度に、札幌神社の成り立ち、そして、昭和39年(1964)に北海道神宮と改称してから今日までの境内や祭りの移り変わりについて、資料をもとにたどってみたいと思います。あわせて、当館寄託資料を公開するとともに、これら資料の収集や神輿渡御などの石版画制作に、明治23年(1890)から明治32年(1899)まで宮司を務めた白野夏雲(1827-1899)が果たした役割を紹介します。

1 札幌神社の成り立ち



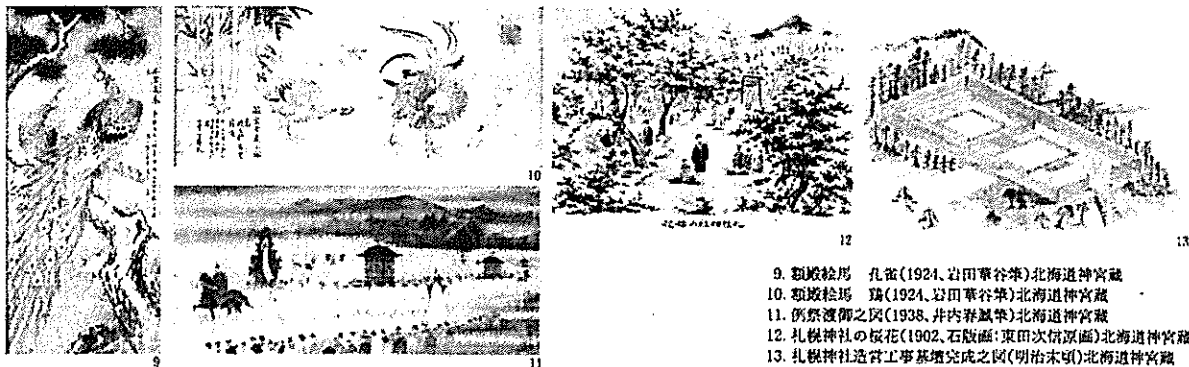
1. 石狩大府指図(1869頃、島義勇筆)北海道神宮蔵 2. 北海道新大社之図(1869頃)北海道神宮蔵
3. 札幌御本陣及一ノ御宮見取図(1871、高見沢権之丞筆)北海道神宮蔵 4. 札幌神社之図(1874)北海道神宮蔵

2 宮司 白野夏雲



5. 白野夏雲、北海道神宮蔵 6. 札幌神社境内見取図(1894)北海道神宮蔵
7. 官務中社札幌神社神輿市街巡幸之図(1897、石版画・栗田鉄馬原画)北海道神宮蔵 8. 樹皮衣、北海道博物館蔵

3 境内と祭りの移り変わり



9. 額殿絵馬 孔雀(1924、岩田華谷筆)北海道神宮蔵
10. 額殿絵馬 鶏(1924、岩田華谷筆)北海道神宮蔵
11. 例祭渡御之図(1938、井内春風筆)北海道神宮蔵
12. 札幌神社の桜花(1902、石版画・東田次信原画)北海道神宮蔵
13. 札幌神社造営工事基壇完成之図(明治末頃)北海道神宮蔵

同時開催

蔵出し展「模型でみる札幌建築物語」

明治以降、札幌のまちを彩ってきた建物を、建築模型で紹介しします。